

平成29年度

新町だより

学校評価後期号

・学校教育目標  
夢に向かって、たくましく挑戦し、共に輝く子の育成

平成30年3月19日

京都市立新町小学校長 田宮 みゆき

T E L : 0 7 5 - 4 3 2 - 4 1 9 0

E-mail : [shinmachi-s@edu.city.kyoto.jp](mailto:shinmachi-s@edu.city.kyoto.jp)

<http://www.edu.city.kyoto.jp/hp/shinmachi-s/>

学校評価のアンケート結果から ～よりよい新町小学校を目指して～

保護者，児童，教職員のアンケート結果をもとに，本校の取組について分析や検討を行いました。その結果を踏まえ，さらによりよい新町教育の充実と発展を目指していきたいと考えております。保護者の皆様にはお忙しい中，ご協力いただきありがとうございました。

初めに，アンケートの結果をお知らせします。アンケートは，各質問に4つの選択肢で回答していただきました。

【A「よく出来ている」 B「大体出来ている」 C「あまり出来ていない」 D「出来ていない」】

【保護者アンケート】

	項 目	A	B	C	D
1．子どもの様子について					
①	授業中，子どもは意欲的に学習している。	28.9	64.3	6.6	0.2
②	授業中，子どもは進んで自分の考えや思いを話している。	23.2	55.0	20.7	1.1
③	子どもは，楽しく元気に学校に通っている。	60.0	35.5	3.9	0.7
④	子どもは，何事にも積極的にチャレンジし，粘り強く最後まで活動している。	22.2	59.7	17.0	1.1
⑤	子どもは，進んであいさつしている。	26.0	57.6	15.6	0.9
⑥	子どもは，他人にやさしさや思いやりをもって接している。	39.4	57.7	2.9	0.0
⑦	子どもが，早寝・早起きをし，適切な睡眠時間を取ることができるよう心がけている。	26.0	47.6	22.3	4.1
⑧	子どもが，朝ごはんをきちんと取ることができるよう心がけている。	61.5	33.0	5.0	0.5
⑨	子どもは，学校などの公共の場所での約束やルールを守っている。	45.2	50.2	4.1	0.5
⑩	子どもは進んで読書に親しんでいる	32.5	30.2	28.4	8.8
2．家庭や地域について					
①	子どもは，家庭でテレビやゲームなどの時間や約束を決め，決めた約束を守っている。	23.9	44.9	21.2	9.9
②	家庭で子どもとの会話の時間をもつことを大切にしている。	29.8	61.4	8.6	0.2
③	家庭学習の習慣をつけたり，内容の充実を図ったりしている。	23.2	49.9	23.9	3.0
④	学校のお便り（学校・学年・学級だより・PTAだよりなど）をきちんと読んでいる。	25.1	59.8	13.1	2.0
⑤	学校行事やPTA主催の行事，地域の行事などに積極的に参加している。	11.7	47.9	34.5	5.9
3．学校の取組について					
①	学校運営協議会の取組について知っている。	11.8	55.2	29.2	3.8
②	学校は，学校運営協議会の取組を教育に生かしている。	25.3	62.2	10.8	1.6
③	学校は，学校だよりや学年だより，ホームページなどで学校の取組を発信している。	42.3	52.7	4.5	0.5
④	学校は，いじめのない人権を尊重した教育を進めている。	25.8	68.0	5.5	0.7
⑤	学校には何でも相談しやすい雰囲気があり，教職員は丁寧な対応をしている。	32.3	60.1	6.4	1.1
⑥	学校は，保護者・地域との交流を深め，地域ぐるみで学校づくりを進めている。	38.9	57.9	2.5	0.7

【児童のアンケート】

	項 目	A	B	C	D
①	毎日，楽しく学校へ通っている。	68.7	23.2	6.6	1.5
②	学習やクラスの活動などいろいろなことに，やる気をもってちょう戦している。	54.8	38.3	6.4	0.4
③	授業は，分かりやすく楽しい。	54.6	35.1	9.4	0.8
④	授業中，進んで自分の考えや思いを発表している。	42.2	33.2	21.0	3.6
⑤	授業のめあてに合わせてふりかえりやまとめを書いている。	64.0	26.1	8.9	1.1
⑥	授業中，友だちに教えたり友だちから教えてもらったりして，学習をがんばっている。	63.4	25.6	9.4	1.5
⑦	朝学習などでする きほんてきな学習を大切にしている。	52.4	33.8	12.5	1.3
⑧	自分で課題を見つけ，自主学習に毎日取り組んでいる。	28.8	32.7	33.6	4.9
⑨	学習の準備をきちんとしている。	68.2	25.6	5.8	0.4
⑩	進んで読書している。	58.5	25.1	13.4	3.0
⑪	学校やクラスのきまりをしっかり守っている。	53.1	38.8	7.3	0.9
⑫	そうじをきちんとおこなっている。	64.1	30.1	5.1	0.6
⑬	早寝・早起き・朝ごはんの習慣を身につけている。	45.7	34.3	15.9	4.0
⑭	自分から進んであいさつしている。	68.4	25.6	5.3	0.7
⑮	男女関係なく，だれとでも仲良くすることができる。	58.8	29.8	9.5	1.9
⑯	道徳など，他人の立場や気持ちを考える学習を大事にしている。	62.6	30.3	6.2	0.9
⑰	にこにこタイムなどで，ちがう学年の友だちと楽しく活動している。	68.4	23.6	6.7	1.3
⑱	自分や友だちを大切にしている。	79.1	17.9	3.0	0.0

※教職員アンケートの結果は紙面の都合上，学校のホームページにて掲載しています。

前期の学校評価等を振り返り，目指す子どもの姿から見た改善策や重点の取組を次のように見直し，後期の取組を進めました。

- ◆確かな学力を身に付けるために，また豊かな心を育むために，子どもたち一人一人が主体的に参加できるように毎時間の授業を工夫する。
- ◆子どもたちが自ら学ぶ力を付けるために，学級で自主学習の内容を交流したり担任がノートを丁寧に見たりして自主学習を推進する。
- ◆学習の基礎基本の定着を図るために，朝学習の内容を工夫するとともに，放課後などを活用して補充学習を行う。
- ◆子どもの自尊感情や自己有用感を高めるために，係活動やたてわり活動，委員会活動などの特別活動では子どもたち自らが企画し，それを実行にうつす機会を大切にします。
- ◆早寝早起き朝ごはんを推奨するとともに，6年生を中心としたあいさつ運動の取組を充実させる。

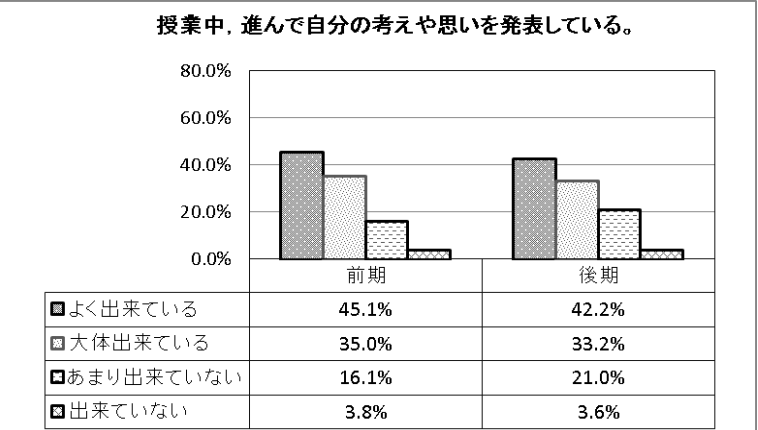
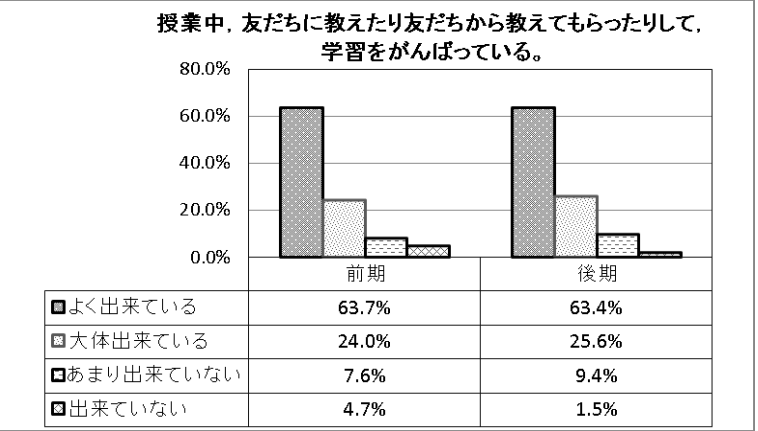
今回は，12月に実施させていただきました学校評価にかかわるアンケートの結果をもとに，前期の評価と比べながら後期の取組の成果と課題について考察したことをお知らせします。

（裏面へ）

## 【学習面について】

本校は、生き方探究教育の視点を大切にした研究に取り組んで5年目となります。生き方探究教育の視点の一つとして、友達との関わりを通して多種多様な人の考え方に触れたり自分の考えを深めたりする「仲間との学び合い」があります。

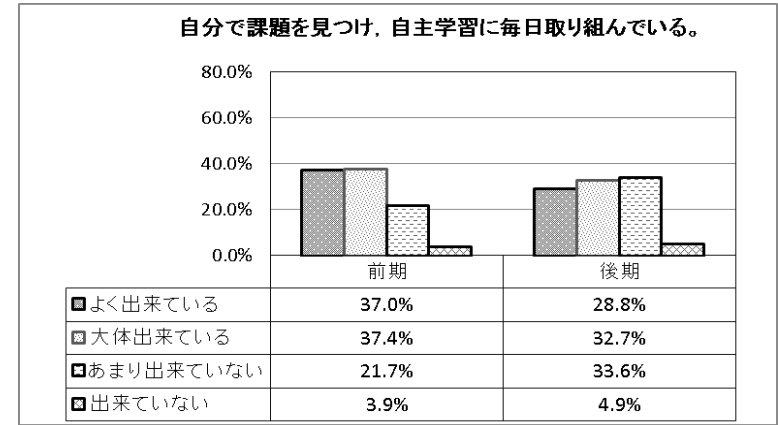
授業参観などの際にご覧いただくことも多いと思いますが、特定の教科に限らず、様々な学習活動の場面でグループ学習やペア学習を取り入れ、自分の考えや思いを伝えたり友達の意見を聞いて自分なりに考えを深めたりする機会を大事にしています。



児童の後期のアンケート結果を見ると、「友だちに教えたり友だちから教えてもらったりして学習をがんばっている」という質問においては、「よく出来ている」という回答が63.4%、「大体出来ている」という回答が25.6%と、90%近い児童が友達と学ぶ合うことのよさや楽しさを感じています。前期の結果とほとんど差異がないことから、本校が生き方探究教育で「仲間との学び合い」を大切して取り組んできたことが子どもたちにもしっかり届いているということが言えます。一方で、「授業中、進んで自分の考えや思いを発表している。」という質問においては、「よく出来ている」という回答が42.2%、「大体出来ている」という回答が33.2%と、全体で75%の児童は出来ていると感じていますが、前期と比べると5%減となりました。授業において自分の意見や考えを言葉で伝える機会を大事にしていますが、自分の考えに自信がもてなかったり成長とともに恥ずかしさを感じたりして、人前で発言するこ

とを苦手とする児童もいます。次年度の本校の課題として、こうした児童にも目を向けて授業を行えているかどうかを再度見直す必要があると考えます。平成33年1月からはこれまでのセンター試験から「思考力・判断力・表現力」を求められる試験に変わります。こうした大学入試改革を踏まえ、平成32年度から完全実施される小学校の新学習指導要領においても、これまで以上に「思考力・判断力・表現力の育成」が重要視されています。児童が主体的に学習活動に取り組めるような問題提示や、「考えるのが楽しい」「自分の考えたことや分かったことをもっと友達に伝えたい」と思えるような仕掛けなどをしっかり考えて日々の授業を進めていくことが大切であると考えます。児童の学ぶ姿勢や意欲を育むためには、その手本となる私たち教職員が学ぶ姿勢を大事にしなければなりません。児童が「分かった」「できた」「勉強が楽しい」と感じられる授業を実践できるように校内の研修体制を工夫するとともに、外部の研修会にも積極的に参加して情報収集しながら研鑽を積んでいきたいと考えております。

## 【生活面について】



生活面から児童のアンケート結果を見ると、「自分で課題を見つけ、自主学習に毎日取り組んでいる」の質問に対して、「よく出来ている」という回答が28.8%、「大体出来ている」という回答が32.7%でした。この質問については、4年生から6年生の児童を対象に実施していますが、約60%の児童は、宿題以外に自分で課題を見つけて家庭での学習に取り組んでいると言えます。一方で約40%の児童が「あまり出来ていない」「出来ていない」と回答しています。学校からの宿題は基礎的・基本的な内容の定着を図るために、「これだけはおうちできちゃんと復習しておいてほしい」という内容のものをを出しています。しかし、学年が上がるにつれて学習事項も増え、内容も難しくなっていきます。宿題だけでは、復習が十分にできているとは言い難いです。また、中学校へ上がると、1時間の授業で理解しておかないといけない内容がさらに増えます。家庭での予習・復習が非常に大事になってきます。こうしたことを踏まえ、早いうちから家庭学習の習慣を身に付けておくことが大切です。家庭学習の理想の時間としては【学年】×20分と言われてい

ます。4年生なら1時間20分、5年生なら1時間40分、6年生なら2時間ということになりますが、初めからこれを実践するのは難しいことです。まずは、30分や【学年】×10分など、毎日続けることを目標にして時間を設定することが大切です。また、内容については、自分の苦手なことや、つい間違いがちな問題、きちんと覚えておかないといけない事柄などを中心に、自分で計画を立てて取り組んでいくことが大切です。これまでに返却されたプレジョイントプログラム、ジョイントプログラムの結果を振り返りながら、自主学習の計画を立てるのも一つの方法ではないかと思います。家庭学習の習慣が身に付くようにご家庭でも励ましていただけたらと思います。

後期のアンケートでは、「お子たちの社会性を育むにあたり、ご家庭で大切にされていること」をお尋ねしました。いくつかご紹介したいと思います。

- ・気持ちの良い挨拶、挨拶をしっかりとすること、自分から進んで挨拶をすること
- ・他人に迷惑をかけない、自分がされて嫌なことは相手にしない、他人の気持ちを考える、人に対して思いやりの気持ちをもつこと
- ・「家庭」も小さな社会であるので、互いに思いやりの心をもつこと、家族での会話を大切にすること、家族仲良く過ごすこと、家庭でのお手伝い
- ・子どもの自主性を大事にすること、多くの経験をさせること

## 【学校の取組について】

今年度も、生活科やわくわく学習でのまとめの会、部活動など様々な発表会を行いました。それぞれの発表会では、児童が生き生きと自分の思いやこれまでの学習の成果を伝えていました。また、こうした発表会に、地域や保護者の方がたくさん出席してくださったことも、児童が意欲的に活動に取り組む姿に大いに関わっていたと考えております。発表会だけでなく、普段の学校生活においても充実した毎日を送っていることが窺えます。児童への質問項目「毎日、楽しく学校へ通っている」「学習やクラスの活動などいろいろなことに、やる気をもってちょう戦している」に対しては90%以上の児童がプラスの回答をしており、そのことを裏付けています。これも、地域や保護者の方の本校教育に対するご理解、ご協力があったことだと感謝しております。来年度も、児童のより良い成長のために、教職員一丸となって取組を進めていきたいと考えています。引き続きご支援、ご協力よろしくお願い致します。



【教職員アンケート】

	項 目	A	B	C	D
１．子どもの様子について					
①	授業中、子どもたちが意欲的に学習できるように工夫している。	12.5	75.0	12.5	0.0
②	授業中、子どもたちが進んで自分の考えや思いを話す場面を意図的に設定している。	16.0	68.0	16.0	0.0
③	子どもたちが、楽しく元気に学校に通えるように取り組んでいる。	28.0	68.0	4.0	0.0
④	子どもたちが何事にも積極的にチャレンジし、粘り強く最後まで活動できるように取り組んでいる。	24.0	60.0	16.0	0.0
⑤	子どもたちが進んであいさつできるように取り組んでいる。	19.2	69.2	11.5	0.0
⑥	子どもたちが周りの友達にやさしさや思いやりをもって接することができる雰囲気づくりに取り組んでいる。	23.1	76.9	0.0	0.0
⑦	子どもたちが、早寝・早起きをし、適切な睡眠時間を取ることができるように取り組んでいる。	12.0	28.0	60.0	0.0
⑧	子どもたちが、朝ごはんをきちんと取ることができるように取り組んでいる。	12.0	28.0	56.0	4.0
⑨	子どもたちが、学校や公共の場所での約束やルールを守ることができるように取り組んでいる。	26.9	73.1	0.0	0.0
⑩	子どもたちに読書の習慣が定着するように取り組んでいる。	8.0	64.0	24.0	4.0
２．家庭や地域について					
⑥	子どもたちに、家庭でのテレビやゲームなどの時間、約束を守ることを働きかけている。	8.0	56.0	36.0	0.0
⑦	家庭に対して、子どもとの会話の時間をもつことを働きかけている。	12.0	52.0	36.0	0.0
⑧	家庭学習の習慣をつけたり、内容の充実を図ったりできるように取り組んでいる。	12.0	64.0	20.0	4.0
⑨	家庭に対して、学校のお便り（学校・学年・学級だより・ＰＴＡだより）を読むことの大切さについて働きかけている。	15.4	38.5	42.3	3.8
⑩	学校行事やＰＴＡ主催の行事、地域の行事などに積極的に参加している。	15.4	38.5	42.3	3.8
３．学校の取組について					
⑦	学校運営協議会の取組について理解している。	30.8	57.7	11.5	0.0
⑧	学校運営協議会の取組を生かして授業を行っている。	20.0	56.0	20.0	4.0
⑨	学年だよりや学級だより、ホームページなどで学校の取組を発信している。	34.6	42.3	23.1	0.0
⑩	いじめのない人権を尊重した教育の実現に向けて取り組んでいる。	32.0	64.0	4.0	0.0
⑪	何でも相談しやすい雰囲気づくりや、丁寧な対応を心がけている。	23.1	73.1	3.8	0.0
⑫	保護者・地域との交流を深め、地域ぐるみの学校づくりを進めることができるよう取り組んでいる。	19.2	46.2	34.6	0.0